

地域の魅力再発見を通じた教育プロジェクト

—夏休み特別企画

「北川村の魅力を再発見しよう！」

北川村地域活性化協議会

農山漁村振興交付金

計画策定事業 中間報告

—株式会社steAm—

専門家の派遣

《目的》

情報通信を学び情報化社会において主体的かつ能動的に活躍することができる人材の育成

①技術力の向上

→情報通信に関する技術力を身につける。

②問題解決能力の向上

→情報通信に関する知識や技術を活用して現実の問題や課題を解決する能力を養う。

③創造性の向上

→情報通信に関する知識や技術を応用し新しいアイデアや製品を創造する力を育成する。

④コミュニケーション能力の向上

→情報通信を利用して、他者と協力して課題を解決するためのコミュニケーション能力を身につける。

⑤情報リテラシーの向上

→情報通信に関する情報を適切に収集・処理・評価するための能力を養う。

本活動の狙い

- ① 子どもたちのワクワクする感覚を呼び覚まし、「知る」と「創る」とが循環する学びを実現する。
- ② 学びの個別最適化・自立学習化
- ③ 北川村の地域を再発見し、地域への理解を深め、地域愛をはぐくむ

《目次》

- ① 教育分野関係各社との調整
- ② 本ワークショップの概要（イベントスケジュール）
- ③ ドローン
（ICTを活用したコンテンツ作成）
- ④ SpikePrime
- ⑤ AI観光大使を作ろう
- ⑥ 課題
- ⑦ 今後の計画



ROBOT

1.教育分野各社との調整

・北川村における情報通信人材育成のための教育分野各社との調整

○学びの流れの構成と役割分担

| 情報通信人材の育成 | 使用ツール | 担当 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|
| ロボティクス・プログラミングの学習 ワイヤレス充電 | SpikePrime コイルなど | steAm ビー・アンド・プラス |
| 情報発信素材の作成 ドローン飛行 | ドローン premiere | steAm |
| 番組での発表・活動報告 | Youtube番組 | テレビ東京 steAm |

(株) steAmでは、本事業を実施するにあたり、テレビ東京などの各専門家に担っていただく教育分野、内容について上記のように調整した。
また、実施については、子どもたちへの教育効果が高まるよう主体的に取り組む探究型学習となるようプログラムを展開した。

2.本ワークショップ概要

8/3・8/4の2日間にワークショップを開催。
概要については以下のとおりである。

8/3

9:00 開会式
教育長さま 挨拶
各ワークショップ講師紹介等

9:15 各ワークショップ開始

<ドローン>

9:15 ドローンの基礎講座
操縦練習
シナリオ構成

<SpikePrime>

9:15 プログラミングとは

10:00 スペースマシンの制作
コース走行

13:00 SpikePrimeで
名に作ろう？

<AI観光大使>

9:15 AI基礎講座

10:00 情報収集
フィールドワーク 1

13:00 情報収集
フィールドワーク 2

15:00 入手情報の
整理WS

16:00 各ワークショップ終了

8/4

<ドローン>

9:00 映像を編集
しよう I

<SpikePrime>

9:00 制作と動きの
確認

<AI観光大使>

9:00 AI観光大使の
名前を決めよう

10:00 デザインを
決めよう

13:00 映像を編集
しよう II

13:00 プレゼン
づくり

13:00 私たちの作る
AI大使を整理
しよう！

15:00 発表会

(講評者：田所部会長 他)

15:50 閉会式
記念撮影

3. ドローン（ICTを活用したコンテンツの作成）



WYW TOKUSHIMA代表 松原氏の講師と共に、大学生メンター2名（四国大学）で実施。

| 本プログラムの特長 | 本プログラムのねらい |
|--------------|---|
| 地域の魅力の発信 | 映像作成を通じて、地域の魅力や特徴を多くの人々に伝える活動ができた。 |
| 情報収集力の向上 | 映像制作に必要な情報を収集することで、情報収集力を向上させることができた。 |
| デザイン力・技術力の向上 | 映像作成に必要なデザイン力を身につけることで、美しい映像を作成することができます。映像制作を通して、絵コンテの作成やカメラワーク、編集技術など様々な技術を身につけた。 |
| 情報伝達力の向上 | 映像制作を通じて、その映像をマスコミやメタバース、動画配信などを用いて情報伝達力を向上させることができた。 |

3. ドローン（ICTを活用したコンテンツの作成）

<生徒作品制作の様子>

<ドローン操作の練習>

実機を飛ばす前に、趣味レーターを用いてドローン飛行の練習を行い、操作感覚を養った。



<ドローンを使用しての映像撮影>

絵コンテ制作が完了し、いざ撮影へ。撮影では、ビデオカメラだけでなく、ドローンを用いて撮影を行った（撮影 WTW TOKUSHIMA 代表 松原氏）。



<映像を編集する様子>

動画のテロップこだわって動画の制作を行った。





4. SpikePrime教室



学生メンター3名（四国大学）で運営。

LEGOの組み立て補助から、センサーの取り付け方法、ワードブロックでのプログラミング方法を指導した。ベース車両を作り、回数を重ねることで自分に合った工夫を凝らし、完成形へと作り上げていった。

| 本プログラムの特長 | 本プログラムのねらい |
|------------------------------------|--|
| LEGO SpikePrime情報センシング技術の学び | ロボットに搭載されたセンサーを活用して、周囲の情報を収集し、処理するための技術を学ぶ |
| プログラミング技術の学び | センサーから収集した情報をもとに、ロボットの行動を制御するためのプログラムを作成するための技術を学ぶ |
| ロボットの設計・製作技術の学び | センサーをはじめとする様々な部品を組み合わせ、ロボットを設計・製作するための技術を学ぶ |
| 問題解決能力の向上 | ロボットに搭載されたセンサーの精度や機能性によって、現実の問題を解決するために必要な技術的な議題が生じることがある。そのため、問題解決能力を養うための学びとしても公開的である。 |



5.AI観光大使を作ろう



R5年度 これまでの取組内容

実施内容①ワークショップの開催

- ・ 2024年8月3日と8月4日に、北川村にて「AIを活用したバーチャル観光大使制作ワークショップ」を実施。
- ・ 小学生中心に6名の子供達と共に、四国大学の学生サポートの元、2日間のカリキュラムで学びと制作を行った。

○実施内容

○実施風景

TV TOKYO Pictoria AIを活用し、北川村のバーチャル観光大使を作ろう！ AI観光大使を作ることによる地域の魅力再発見

8月3日

- 9:30-10:30 AI基礎講座30m+フィールドワークするにあたっての考え方30m (阿部様 リモート)
- 10:30-12:00 情報収集フィールドワーク1 (テレビ東京林) Pictoria社からの問いを探す
- 13:00-15:00 情報収集フィールドワーク2 (テレビ東京林) 自分で問を建て、答えを探す
- 15:00-16:00 入手情報の整理WS、アドバイス、確認 (阿部様 リモート)

8月4日

- 9:00-10:00 AI観光大使の名前を決めよう (発想法)
- 10:00-12:00 キャラデザインを決めよう どのようなキャラクターにする？
- 13:00-15:00 私たちのつくるAI観光大使を整理しよう (発表準備)
- 15:00-15:50 発表会(入力データのおさらい、デザイン案の確認、名前の発表)
- 15:50-16:00 閉会式



Vtuberの制作、運営を行う株式会社Pictoria社のエンジニアによるAIの基礎知識の講座や、AIに入れる情報を足を使って得るため「モネの庭」や「中岡慎太郎館」へ行くなど、座学とフィールドワークを組み合わせ、ワークショップを実施。発表の際には6名それぞれにカテゴリーごとの発表を担当してもらい、学んだ事、得た情報をアウトプットした。

5.AI観光大使を作ろう

R5年度 これからの取組内容

実施内容②発表イベントの開催

- ・ワークショップで制作したバーチャル観光大使を制作し、実際に稼働するAI Vtuberとして完成させる。
- ・参加者と共に、お披露目イベントを配信形式で実施し、完成物の発表及びワークショップの振り返りを発信する

○実施予定内容イメージ



○制作の元となる子供達制作のキャラクターイメージ図



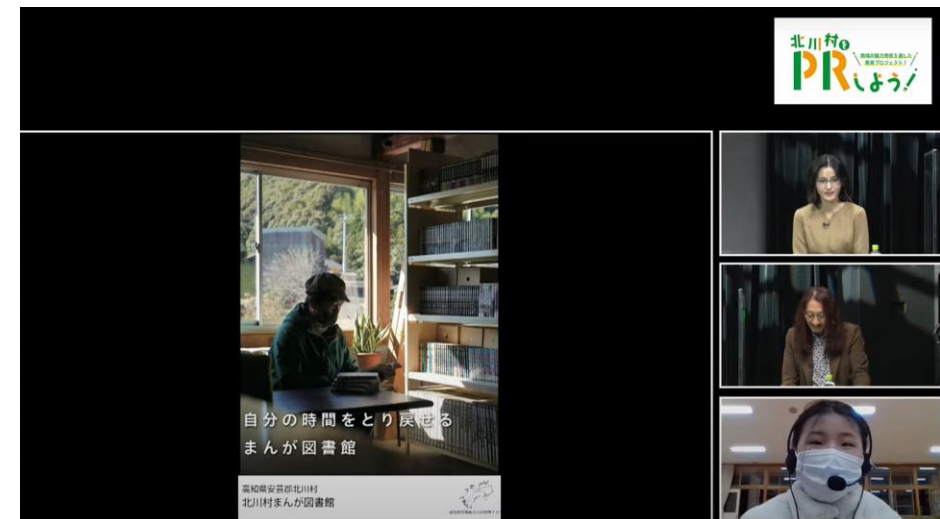
2023年12月26日の午後を予定している配信イベントでは、前回同様、オンラインで関係者が登壇。アナウンサーや有識者の進行の元、ワークショップの感想や学んだ情報を振り返る。、現在Pictoria社が制作してるAIキャラクターを、当日は発表し、完成したキャラクターと全員が触れ合う。今後の活用方法をディスカッションし、次年度へ向けての可能性を探る場とする。

5.番組での活動報告（テレビ東京との協働）

番組名（YouTube配信）：TaMaRiBa特別編
「地域の魅力発信、高知県北川村小中学生研究発表プログラム」（2023年1月24日）

(株)steAmからの出演：代表 中島さち子 大学生メンター 2名（香川大学1名、四国大学1名）

番組で発表することを通じて、北川村への思いを再確認するとともに、情報通信機器やメディアなどを活用して、世界に向けたアピールに取り組む気持ちが醸成された。





6. 今後の活動計画

- ① AI観光大使を中心とした成果発表（YOUTUBE番組 12月26日を予定）
- ② 毎月1回程度のロボティクスの学び
- ③ 冬休み科学実験体験講座 1 Day企画（1月5日？）